

重点課題の「現状と課題」に関する新旧対照表

新（仮称「第3次計画」）	旧（現行「第2次計画」）
<p>【重点課題1】男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識の改革 (資料1 P4)</p> <p>【現状と課題】</p> <p>社会制度や慣行は、それぞれの目的や経緯を持って作られたものではありませんが、中には、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見等を反映して成り立っているものがあります。このような社会制度や慣行は、明示的に性別による区別を設けていなくても、個人の多様な生き方を制約し、男女共同参画社会の形成を妨げる要因となっている場合があります。</p> <p>男女が自らの意思によって、社会のあらゆる分野で活動に参画する機会が確保されるためには、男女の社会的活動に及ぼす影響が中立的な制度や慣行を構築することが不可欠です。</p> <p>令和3年度に実施した市民意識調査によると、「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担の考え方について「反対」する人が「賛成」する人よりも多くなっている一方で、「社会的通念、慣習・しきたりの中で不平等な点がある」と感じている人が全体の7割を占めており、依然として男女の地位の平等感は低い状況です。また、「男女が平等になるために重要なこと」として、「女性/男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念やしきたり、慣習の見直しが必要」と感じている人が全体の半数を超えています。</p> <p>このようなことから、市のあらゆる施策や、家庭、職場、学校、地域等におい</p>	<p>【重点課題1】男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識の改革 (計画書 P16)</p> <p>【現状と課題】</p> <p>男女共同参画社会とは、男女がお互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、社会のあらゆる分野において性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる社会です。</p> <p>男女共同参画は社会全体の問題であり、これまで男女共同参画を推進するための様々な取組がなされてきましたが、男女共同参画があらゆる立場の人にとって必要だということが十分に理解されてきたとは言えない状況です。</p> <p>2016（平成28）年度に実施した市民意識調査によると、様々な分野における男女の地位の平等感に関し、「平等になっている」と感じる人の割合は最も高い「家庭の場」でも35.7%に留まっており、7つの調査項目すべての分野で男性よりも女性の平等感が低い状況となっています。</p> <p>また、男女共同参画社会を実現する上で大きな障害の一つとなっている性別による固定的な役割分担意識は、時代と共に変わりつつあるものの、いまだに人々の意識に残っており、「男性は仕事、女性は家庭」といった考え方を肯定する市民の割合は、26.7%となっています。性別による固定的な役割分担意識に基づく社会制度や慣行は、女性のみならず男性にとっても、多様な生き方を選択する際の障害となっていることから、これを解消し、男性、子ども、若年層などを含め、あらゆる人にとって、男女共同参画が必要であることを共感できるよう、男女共同参画の理念を正しく広めていく必要があります。</p> <p>更に、男女共同参画の視点から見直されるべき社会制度や慣行への気づきとそ</p>

コメントの追加 [市民課1]: 国制定「第5次基本計画」
P104

<p>て、男女共同参画の視点から見直されるべき社会制度や慣行への気づきを更に広めるとともに、その気づきを制度・慣行の見直しに向けた市民の主体的な行動に繋げられるよう、男女共同参画の推進に関する積極的な広報・啓発活動を展開していく必要があります。</p>	<p>の見直しに向けた主体的な行動が市民の中で広まるよう、男女共同参画の推進に必要な知識の普及を図るため、積極的な広報・啓発活動を展開していく必要があります。</p>
--	---

新（仮称「第3次計画」）	旧（現行「第2次計画」）
<p data-bbox="129 327 723 352">【重点課題2】男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進</p> <p data-bbox="757 368 878 389">（資料1 P10）</p> <p data-bbox="129 403 262 429">【現状と課題】</p> <p data-bbox="129 443 887 544">男女共同参画社会の形成を妨げる要因である固定的性別役割分担意識や、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）は、往々にして幼少の頃から長年にわたり形成されており、女性と男性のいずれにも存在します。</p> <p data-bbox="129 558 887 659">令和3年度に実施した市民意識調査では、「男女共同参画を推進していくために、市が力を入れるべきこと」として、多くの人（47.6%）が、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」を挙げています。</p> <p data-bbox="129 673 887 812">市民一人ひとりが固定概念にとらわれず、お互いに尊重しながら多様な選択ができ、自分らしく生きるためには、学校、家庭、地域、職場などあらゆる分野において、男女が生涯を通じて男女共同参画についての理解の深化を図るための学習機会の提供が重要です。</p> <p data-bbox="129 826 887 965">特に、学校現場においては、児童・生徒の発達段階に応じ、男女平等や男女の相互理解と協力の重要性についての指導の充実を図るとともに、将来を見通した自己形成ができるよう男女共同参画の視点に立った総合的なキャリア教育を進めていくことが求められます。</p> <p data-bbox="129 979 887 1080">また、教職員の男女共同参画に関する意識は、児童・生徒の意識や進路選択に大きな影響を及ぼすことから、教職員に対する男女共同参画に関する研修等の取組を継続することも必要です。</p>	<p data-bbox="911 327 1505 352">【重点課題2】男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進</p> <p data-bbox="1538 368 1659 389">（計画書 P21）</p> <p data-bbox="911 403 1043 429">【現状と課題】</p> <p data-bbox="911 443 1668 469">男女共同参画社会の形成を促進するための基礎となるのが、教育・学習です。</p> <p data-bbox="911 558 1668 697">2016（平成28）年度に実施した市民意識調査では、「男女共同参画を推進していくために、市が力を入れるべきこと」として、多くの人（40.1%）が、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」を挙げています。</p> <p data-bbox="911 711 1668 850">児童・生徒に対しては、その発達段階に応じて、男女共同参画や男女相互の理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどについて指導の充実を図り、将来を見通した自己形成ができるよう男女共同参画の視点に立った総合的なキャリア教育と併せて取組を進める必要があります。</p> <p data-bbox="911 865 1668 1121">一方、教育関係者の男女共同参画に関する意識は、子どもたちをはじめ教育を受けている者の意識に大きな影響を及ぼすことから、社会的性別（ジェンダー）の誤った運用や解釈がされないよう配慮し男女共同参画を推進することができるよう、教育関係者に対する研修等の取組を促進する必要があります。さらに、進路指導に当たっては、性別による固定的な役割分担意識にとらわれずに、児童生徒一人ひとりが自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する能力や態度を身につけるよう指導することが求められます。</p> <p data-bbox="911 1136 1668 1236">さらに、男女が主体的に多様な選択を行うことができるように、人生のそれぞれの段階におけるライフスタイルに応じたきめ細やかな支援を行い、男女が生涯を通じて、男女共同参画の意識を高める学習機会の提供が重要です。</p>

コメントの追加 [市民課2]: 第5次計画 P110

新（仮称「第3次計画」）	旧（現行「第2次計画」）
<p data-bbox="152 328 880 352">【重点課題3】男女がともに能力を発揮し希望する働き方ができる環境づくり</p> <p data-bbox="763 368 880 392">（資料1 P13）</p> <p data-bbox="136 405 259 429">【現状と課題】</p> <p data-bbox="125 443 887 587">就業は生活の経済的基盤であるとともに、個人の自己実現につながるものです。そのため、働きたい人が性別に関わりなくその能力を十分に発揮できる就業環境の整備は、個人の幸福の実現に不可欠であり、また、ダイバーシティの推進による社会・経済活動の活性化という観点からも極めて重要です。</p> <p data-bbox="125 600 887 815">女性活躍推進法及び育児・介護休業法に基づく企業の取組や保育サービスの拡充などにより、育児をしながら働く女性が増加し、30歳代を底とするM字カーブを描いていた本市の女性の年齢階級別労働力率は改善傾向にあります。しかしながら、女性は男性に比べてパートタイム労働などの非正規雇用の割合が高く、女性の長期的なキャリア形成が困難な状況にあり、依然として男女間の賃金格差が大きいことは、女性が貧困に陥りやすい背景の一つとなっています。</p> <p data-bbox="125 946 887 1090">令和3年度に実施した市民意識調査によると、「社会全体として女性が働きにくい状況にある」と感じている人の割合は32.2%で、その理由として多くの方が「女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない」・「育児施設・サービスが十分でない」を挙げています。</p> <p data-bbox="125 1176 887 1319">「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」を実現し、働きたい人全てが、仕事と子育て・介護・社会活動等を含む生活との二者択一を迫られることなく働き続けるためには、家事、育児、介護などに男女がともに取り組むことが必要です。しかし、男性の家庭生活への参画は、長時間労働や固定的性別役割分担</p>	<p data-bbox="934 328 1662 352">【重点課題3】男女がともに能力を発揮し希望する働き方ができる環境づくり</p> <p data-bbox="1541 368 1657 392">（計画書 P24）</p> <p data-bbox="918 405 1041 429">【現状と課題】</p> <p data-bbox="907 443 1668 627">就業は生活の経済的基盤であるとともに、個人の自己実現につながるものであるため、就業環境の整備は男女共同参画社会の実現にとって極めて重要です。また、少子高齢化の進行による人口減少社会の到来に伴い、生産年齢人口の減少が見込まれる中で、将来にわたり持続可能で活力ある社会を築いていくためには、女性の労働力は必要不可欠です。</p> <p data-bbox="907 639 1668 935">男女雇用機会均等法や育児・介護休業法の改正など法制面の充実が図られてきたことにより、女性労働者を取り巻く環境は整備されてきましたが、本市の女性の年齢階級別労働力率は、30歳代を底とするM字カーブを描いており、出産・育児等を理由に離職する女性は依然として高い状況にあるといえます。さらに、パートタイム労働などの非正規雇用は、多様な就業ニーズにこたえる側面もあるものの、男性に比べて女性の非正規雇用の割合が著しく高く、正規雇用と非正規雇用間の格差が男女間の収入格差につながり、女性が貧困に陥りやすい背景の一つとなっています。</p> <p data-bbox="907 948 1668 1163">2016（平成28）年度に実施した市民意識調査によると、職場における男女の地位の平等感に関し、「平等である」と感じる人の割合は20.5%に留まっていることから、就業の分野における男女平等は、まだ十分に進んでいないといえます。そのため、男女が能力にあった公正な処遇のもと、就業を継続し、またはいったん離職しても再就職ができる就業環境を整備していくとともに、積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の本来の意義や周知を図ることが必要です。</p> <p data-bbox="907 1176 1668 1319">「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現は、人々の健康を維持し、趣味や学習、ボランティア活動や地域社会への参画等を通じた自己実現を可能とするとともに、男性の家庭生活への参画や女性の就業継続及び政策・方針決定過程への参画を進める上でも不可欠です。誰もが仕事と生活の調和を実現</p>

コメントの追加 [市民課3]: 第5次計画 P33

意識などの影響であまり進んでおらず、家事・育児等の負担は女性に偏っているのが現状です。

このような状況において、男性の家庭生活への参画や女性の就業継続及び政策・方針決定過程への参画を進めるためには、男女の働き方改革を含めた仕事と生活の調和に向けた社会的気運の醸成、男性の子育て・介護・家事への参画の促進等を進めていくとともに、安心して子育てができるよう、多様な需要に応じた保育サービスの整備、子育ての不安の解消を図るための相談・支援体制の充実を図ることが必要です。

また、性別を理由とする差別的扱い、妊娠・出産・育児休業・介護休業等を理由とする不利益な取扱いやハラスメント等の根絶も重要な課題となっており、引き続き啓発を図ることが必要です。

し、いきいきと暮らすためには、家事、育児、介護などに男女がともに取り組むことが必要ですが、男性の家庭生活への参画は、長時間労働の影響などであまり進んでおらず、家事・育児等の負担は女性に偏っているのが現状です。

女性が働きにくい理由として、多くの方が「女性が働きやすい労働条件・環境が整っていない」、「育児施設・サービスが十分でない」を挙げていることから、働き方改革を含めた仕事と生活の調和に向けた社会的気運の醸成、男性の子育て・介護・家事への参画の促進等を進めていくとともに、安心して子育てができるよう多様な需要に応じた保育サービスの整備、子育ての不安の解消を図るための相談・支援体制の充実を図ることが必要です。

コメントの追加 [市民課4]: 法令で定められたことにより削除

新（仮称「第3次計画」）	旧（現行「第2次計画」）
<p data-bbox="129 328 595 352">【重点課題4】女性に対するあらゆる暴力の根絶</p> <p data-bbox="763 368 878 389">（資料1 P24）</p> <p data-bbox="129 405 262 429">【現状と課題】</p> <p data-bbox="129 445 887 544">女性に対する暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。その予防と被害からの回復のための取組を推進し、暴力の根絶を図ることは、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき喫緊の課題となっています。</p> <p data-bbox="129 560 887 852">暴力は、被害者の自己肯定感や自尊感情を失わせるなど、心への影響も大きいものであり、その後の人生に大きな支障をきたし、貧困や様々な困難にもつながることもある深刻な問題です。またそのうち、ドメスティック・バイオレンス（以下、「DV」という。）、性犯罪、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の暴力は、被害者のほとんどが女性であり、その背景には、性別による固定的な役割分担意識や、男女の経済的格差、上下関係など男女が置かれている状況等に根ざした社会の構造的問題があります。これらの暴力の根絶のためには、社会における男女間の格差是正及び意識改革が不可欠です。</p> <p data-bbox="129 868 887 967">令和3年度に実施した市民意識調査によると、配偶者間等で、身体、精神、性的のいずれかの暴力の被害経験が「1・2度あった」「何度もあった」と答えた人は全体の約5人に1人となっています。</p> <p data-bbox="129 1015 887 1118">また、暴力を受けた経験のある方に、その相談先についてたずねたところ、「どこにも相談しなかった」と回答した人が35.1%を占め、DVは潜在化しやすい特性があるといえます。</p> <p data-bbox="129 1134 887 1311">こうしたことから、暴力は犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、決して許されないものであるとの社会的認識の徹底等、暴力を根絶するための社会基盤づくりをさらに推進するとともに、「霧島市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する計画」に基づき、DV被害者の保護・自立支援に関する施策を総合的に推進していく必要があります。</p>	<p data-bbox="911 328 1462 352">【重点課題4】男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶</p> <p data-bbox="1541 368 1655 389">（計画書 P34）</p> <p data-bbox="911 405 1043 429">【現状と課題】</p> <p data-bbox="911 445 1668 775">全ての人は、日本国憲法にうたわれている個人の尊重と法の下での平等に基づき、性別にかかわらず個性や能力を発揮できる機会が確保され、自分の生き方を自分で選択し、かつ、人生を豊かに生きる権利を有しますが、その基本的な人権を侵害するものの一つに、様々な暴力が存在します。そのうち、ドメスティック・バイオレンス（以下「DV」という。）、性犯罪、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の暴力は、被害者のほとんどが女性であり、その背景には、性別による固定的な役割分担意識や、男女の経済的格差、上下関係など男女が置かれている状況等に根ざした社会の構造的問題があり、これらの暴力の根絶は、男女共同参画を推進していく上で喫緊の課題です。</p> <p data-bbox="911 868 1668 1118">2016（平成28）年度に実施した市民意識調査によると、配偶者間等で、身体、精神、性的のいずれかの暴力の被害経験が「1・2度あった」「何度もあった」と答えた人は女性の約4人に1人、男性の9人に1人となっており、いずれの暴力についても「経験がある」という回答割合は、女性が男性を大きく上回っています。また、暴力を受けた経験のある方に、その相談先についてたずねたところ、「どこにも相談しなかった」と回答した人が31.0%を占め、DVは潜在化しやすい特性があるといえます。</p> <p data-bbox="911 1134 1668 1311">こうしたことから、暴力は犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、決して許されないものであるとの社会的認識の徹底等、暴力を根絶するための社会基盤づくりをさらに推進するとともに、「霧島市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する計画」に基づき、DV被害者の保護・自立支援に関する施策を総合的に推進していく必要があります。</p>

コメントの追加 [市民課5]: 第5次計画 P63

新（仮称「第3次計画」）	旧（現行「第2次計画」）
<p>【重点課題5】生涯を通じた男女の健康の保持・増進（資料1 P29）</p> <p>【現状と課題】</p> <p>生涯にわたって健康で明るく、充実した日々を自立して自分らしく過ごすためには、女性と男性の身体の仕組みの違いを理解し、ともに自らの心と身体の健康管理を行い、性と生殖の観点から、女性・男性それぞれ特有の疾患やそのライフスタイルや世代によって生じてくるさまざまな健康上の問題に取り組むことが必要です。</p> <p>特に女性は妊娠、出産や更年期疾患を経験する可能性があるといった、生涯を通じて男女が異なる健康上の問題に直面することについて、十分な配慮が必要です。</p> <p>また一方で、望まない妊娠や性感染症の実態がありますが、その背景には性に関する正しい知識や情報の不足のほか、女性による性についての主体的な判断と行動を阻む社会的性別（ジェンダー）があり、それに起因する性的暴力の要因となっていることもあります。</p> <p>そのため、女性が、生涯安心した性生活をはじめ、健康な生活を営むことができるよう、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）についての市民への意識の浸透を図るとともに、女性の生涯を通じた健康を支援するための総合的な取組が必要です。</p> <p>一方、本市の自殺死亡率は令和3年度で18.4%であり、その多くは男性となっています。この背景には、性別による固定的な役割分担意識が強く浸透する中で、男性自身がとらわれている男性としてのあるべき姿に縛られ、悩みや問題を一人で抱え込み、精神的に孤立している状況があります。このため、男女共同参画の視点を踏まえ、自殺予防も視野に入れた心身の健康支援や男性に対する意識啓発活動を推進していく必要があります。</p>	<p>【重点課題5】生涯を通じた男女の健康の保持・増進（計画書 P41）</p> <p>【現状と課題】</p> <p>生涯にわたって健康で明るく、充実した日々を自立して自分らしく過ごすためには、女性と男性の身体の仕組みの違いを理解し、ともに自らの心と身体の健康管理を行い、性と生殖の観点から、女性・男性それぞれ特有の疾患やそのライフスタイルや世代によって生じてくるさまざまな健康上の問題に取り組むことが必要です。</p> <p>特に女性は妊娠、出産や更年期疾患を経験する可能性があるといった、生涯を通じて男女が異なる健康上の問題に直面することについて、十分な配慮が必要です。</p> <p>また一方で、望まない妊娠や性感染症の実態がありますが、その背景には性に関する正しい知識や情報の不足のほか、女性による性についての主体的な判断と行動を阻む社会的性別（ジェンダー）があり、それに起因する性的暴力の要因となっていることもあります。</p> <p>そのため、女性が、生涯安心した性生活をはじめ、健康な生活を営むことができるよう、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）についての市民への意識の浸透を図るとともに、女性の生涯を通じた健康を支援するための総合的な取組が必要です。</p> <p>一方、本市の自殺死亡率は2016（平成28）年で15.8%と近年は減少してきている状態ではありますが、現在においても多くの方々が自殺により亡くなっており、その多くは男性となっています。この背景には、性別による固定的な役割分担意識が強く浸透する中で、男性自身が「男性としてあるべき姿」にとらわれ、悩みや問題を一人で抱え込み、精神的に孤立している状況があります。このため、男女共同参画の視点を踏まえ、自殺予防も視野に入れた心身の健康支援や男性に対する意識啓発活動を推進していく必要があります。</p>

新（仮称「第3次計画」）	旧（現行「第2次計画」）
<p data-bbox="129 328 880 392">【重点課題6】男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備（資料1 P33）</p> <p data-bbox="129 405 264 432">【現状と課題】</p> <p data-bbox="129 443 880 738">単身世帯やひとり親世帯の増加等に伴う家族形態の多様化、非正規労働者の増加など雇用・就業構造の変化等により、家族形態や就労状況、年代等を問わず幅広い層で生活上の困難を抱える人が増加しています。<u>特に女性は、男性と比べて賃金が低いことや非正規労働者の割合が高いことを背景に貧困等生活上の困難に陥りやすく、中でもひとり親世帯の相対的貧困率は比較的高いという特徴があります。</u>仕事と生活の調和が確立されていない状況下で、生活上の様々な困難から子どもの養育や健康面への影響も懸念されることから、<u>それぞれの実情に応じた相談対応や自立支援等が必要</u>です。</p> <p data-bbox="129 751 880 967">2021（令和2）年国勢調査結果によると、本市の高齢化率は28.0%で、前回の平成27年調査と比較して2.6ポイントと大幅に増加しています。少子高齢化が進む中、近年では、孤独死、老老介護、高齢者虐待などが社会問題となっており、例えば、高齢女性の単独世帯の経済的基盤が脆弱であることや、高齢男性の地域における孤立が深刻化していることから、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを進めていく必要があります。</p> <p data-bbox="129 979 880 1123">さらに、高齢化社会を豊かで活力あるものにしていくためには、高齢者を単に支えられる側に位置付けるのではなく、他の世代とともに社会を支える重要な一員として、高齢者が積極的に社会参画できる機会の充実や、生活を楽しめる環境づくりを推進していくことが必要です。</p> <p data-bbox="129 1136 880 1311">また、障がいがあることや、外国にルーツがあること、性的指向・性自認に関すること等、様々な状況におかれる人が地域の中で自立した生活を送り、社会の構成員として積極的に社会参加をしていくために、男女共同参画の視点に立ち、すべての人が多様性を尊重しながら安心して暮らせる環境の整備に取り組んでいく必要があります。</p>	<p data-bbox="911 328 1460 355">【重点課題6】男女がともに安心して暮らせる環境の整備（計画書 P46）</p> <p data-bbox="911 405 1046 432">【現状と課題】</p> <p data-bbox="911 443 1662 699">単身世帯やひとり親世帯の増加等に伴う家族形態の多様化、非正規労働者の増加など雇用・就業構造の変化等により、家族形態や就労状況、年代等を問わず幅広い層で生活上の困難を抱える人が増加しています。中でも、ひとり親世帯の相対的貧困率は比較的高く、特に母子世帯で高いという特徴があります。仕事と生活の調和が確立されていない状況下で、生活上の様々な困難から子どもの養育や健康面への影響も懸念されることから、<u>相談体制の確立や自立支援などの対策に取り組んでいく必要があります。</u></p> <p data-bbox="911 751 1662 967">2015（平成27）年国勢調査結果によると、本市の高齢化率は25.4%で、県内で2番目に低いものの前回の2010（平成22）年調査と比較して2.9ポイント増加しています。少子高齢化が進む中、近年では、孤独死、老老介護、高齢者虐待などが社会問題となっており、例えば、高齢女性の単独世帯の経済的基盤が脆弱であることや、高齢男性の地域における孤立が深刻化していることから、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを進めていく必要があります。</p> <p data-bbox="911 979 1662 1163">また、身体障害・知的障害・精神障害など障がいのある人は増加しており、高齢化の進行などにより、障がいのある人は今後も増加し続ける見込みです。障がいのある人が、男女を問わず、地域の中で自立した生活を送り、社会の構成員として積極的に社会参加をしていくためには、福祉サービスの充実と生活環境の整備を図ることが必要です。</p> <p data-bbox="911 1176 1662 1279">このように様々な生活困難を抱える人々の状況を踏まえ、男女共同参画の視点に立ち、生活困難を抱える人々が、自立し、安心して暮らせる環境の整備に取り組んでいく必要があります。</p>

コメントの追加 [市民課6]: 第5次計画 第6分野タイトル

コメントの追加 [市民課7]: 現行計画の表現を活かしながら高齢者・障がい者に限定しない表現に変更

新（仮称「第3次計画」）	旧（現行「第2次計画」）
<p data-bbox="129 328 882 392">【重点課題7】男女共同参画の視点に立った地域づくり及び防災の推進 (資料1 P38)</p> <p data-bbox="129 405 264 432">【現状と課題】</p> <p data-bbox="129 443 887 587">社会経済情勢の変化に伴い、人々にとって家庭とともに最も身近な暮らしの現場である地域社会を取り巻く状況も複雑化し、住民連帯感や地域社会への帰属意識の希薄化、少子高齢化・人口減少・過疎化の進行により活動が困難となっている地域が存在する等、多くの課題を抱えています。</p> <p data-bbox="129 598 887 703">そうした多様化・複雑化する地域課題を解決し、自治会等地域コミュニティの活動を活力ある持続可能な地域社会の実現につなげるためには、性別に関わらず誰もが地域活動や地域づくりに参画することが必要です。</p> <p data-bbox="129 826 887 1011">2021（令和3）年度に実施した市民意識調査によると、地域社会における男女の地位の平等感について「不平等な点がある」と回答した人の割合が53.2%と約半数の方が不平等と感じている結果となっています。また、女性が社会活動や地域活動に参画していく上で必要なこととして、一番多い回答は「男女が共に参画し、協力し合える活動内容にする」であり、約半数がそう答えている状況です。</p> <p data-bbox="129 1059 887 1203">このようなことから、地域における男女共同参画意識や地域コミュニティ意識の醸成を図るとともに、地域課題の解決に向けた活動を行う人材や団体の育成・支援を行い、男女共同参画の視点に立った地域づくり活動を推進する必要があります。</p> <p data-bbox="129 1214 887 1319">また、東日本大震災等の検証により災害発生という非常事態における緊急時には、平時の固定的性別役割分担意識が強化され、男性中心で物事が決められ、男女で異なるニーズが把握されず、被災者を更に困難な状況に追い込んでしまうこ</p>	<p data-bbox="913 328 1666 392">【重点課題7】男女共同参画の視点に立った地域づくり及び防災の推進 (計画書 P52)</p> <p data-bbox="913 405 1048 432">【現状と課題】</p> <p data-bbox="913 443 1671 507">人々にとって家庭とともに最も身近な暮らしの場である地域は、男女共同参画社会の実現にとって重要な役割を果たしています。</p> <p data-bbox="913 518 1671 662">近年、住民の連帯感や地域社会への帰属意識の希薄化、少子高齢化・過疎化の進行により活動が困難となっている地域が存在する等、住民に直結する様々な問題が顕在化しており、男女が共に地域づくりを担わないと立ち行かない状況になっています。</p> <p data-bbox="913 673 1671 817">自治会等地域コミュニティの活動が、持続可能な地域社会の実現につながるためには、性別や年齢、障害の有無等を越えて、様々な立場を生きる人々が、共に生きていくことを支える男女共同参画の推進に向けた取組が必要不可欠ですが、その認識は未だ十分に浸透してはならず、地域課題の解決を困難にしています。</p> <p data-bbox="913 828 1671 1045">2016（平成28）年度に実施した市民意識調査によると、地域社会における男女の地位の平等感について「不平等な点がある」と回答した人の割合が51.5%と約半数の方が不平等と感じている結果となっています。また、女性が社会活動や地域活動に参画していく上で必要なこととして、「男女が共に参画し、協力し合える活動内容にする」と回答した人の割合が約半数と一番多い結果が出ている状況です。</p> <p data-bbox="913 1056 1671 1200">このようなことから、地域における男女共同参画意識や地域コミュニティ意識の醸成を図るとともに、地域課題の解決に向けた活動を行う人材や団体の育成・支援を行い、男女共同参画の視点に立った地域づくり活動を推進する必要があります。</p> <p data-bbox="913 1211 1671 1316">また、東日本大震災等の検証により災害発生という非常事態における緊急時には、平時の固定的性別役割分担意識が強化され、男性中心で物事が決められ、男女で異なるニーズが把握されず、被災者を更に困難な状況に追い込んでしまうこ</p>

となどの問題に明らかになってきています。そのため、男性中心の防災分野へ女性の参画を拡大するとともに、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立するよう取り組む必要があります。

となどの問題に明らかになってきています。そのため、男性中心の防災分野へ女性の参画を拡大するとともに、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立するよう取り組む必要があります。